

2025年8月4日
東邦アセチレン株式会社

水素製造設備の生産能力増強完了

～水素社会を見据え水素発生装置を導入し、高まる需要増に対応～

東邦アセチレン株式会社（本社：宮城県多賀城市、代表取締役社長：堀内秀敏、以下当社）は、グループ子会社である東邦酒田水素株式会社（本社：山形県酒田市、出資比率：東邦アセチレン100%）において、水素発生装置を導入し水素製造設備の生産能力増強工事を進めてまいりましたが、このほど商業運転を開始しました。

これにより、半導体やエレクトロニクスなどさまざまな分野において、高まる水素需要増への対応と安定供給体制の確立が可能となります。

水素は近年、地球温暖化防止に向けた脱炭素社会を担うエネルギーとして期待されており、発電用、モビリティ関連、産業用などさまざまな分野で使用され、今後もさらなる需要拡大が見込まれています。

東邦アセチレングループは水素製造設備の生産能力の増強を通して、旺盛な需要拡大に対応し安定供給を図ることで、水素事業の拡大と収益力の強化を図りながら、当社が目標とするサステナブルな社会の実現に向けて取り組んでいきます。

■ 水素発生装置の概要

設置場所： 東邦酒田水素株式会社（山形県酒田市）

発生方式： 都市ガス水蒸気改質法

設備能力： 300Nm³/h×2基

投資金額： 約10億円



新水素発生装置

■ 東邦酒田水素株式会社

本社・工場： 山形県酒田市大浜一丁目4番88号

設立： 2002年4月1日

事業内容： 水素ガスの製造



東邦酒田水素株式会社

以上